

オレンジカフェの振り返りNo.43

こんにちは。オレンジカフェスタッフです。
第5回目のオレンジカフェを会場とオンライン（zoom）
で開催しました。
先月に引き続き、話し合われた内容について、参加でき
なかった皆さまにもご紹介していこうと思っております。

☕認知症の人にやさしいデザイン

「認知症の人にやさしい広場ができました」と新聞で
話題に。福岡市では、「認知症の人にも優しいデザイ
ンの手引き」を策定した。

- ①色のコントラストをつけて見やすくする。
- ②ピクトグラムの活用。
- ③看板は自然と目に入る高さ。
- ④怖がる人がいるので大きな模様は使わない。
など30項目をまとめ街づくりに反映したとのこと。
後全国で普及してほしい内容である。

☕ヘルプカードの活用

ヘルプカードは必要な支援内容や緊急連絡先など
を記載し、鞆等に吊るすことで周囲が声掛けしたり
と配慮しやすくなるものである。困ったときに
周囲に見せて助けを求めることもできる。周囲が
病気のことをわかってくれることで、丁寧に教え
てもらえる。まだ広く浸透していないため、SOS
に答えられない現実もあるが、少しずつ啓発を
図っていくことが大切である。



☕皆が楽しく参加するために

高齢者の集まりに参加することは、「生きがい」や
「健康づくり」につながり、とても良いことである。
一方で、参加者の中には認知症と思われる方がいる
こともあり、参加者同士でトラブルになることもあ
る。その対応について以下意見が出た。
・地域包括支援センターに連絡をする。
・市役所の高齢者支援課に連絡をする。
・参加できる場所があるのは本人にとっては恵まれ
た環境である。
一方でトラブルが増えると本人もつらいし、他の
参加者も行きたくなくなるのでは。
・認知症への理解を深めるために、「認知症サポー
ター養成講座」を皆で受講する。又は出張講座を依頼する。

☕帰宅願望について

認知症による帰宅願望は、認知症が原因で起こる行動・心理症状
の一つ。その対応について、今回意見交換した。

- ・帰宅願望についての典型的な薬はない。向精神薬は転倒の
リスクがあるため、屯用としてや就寝前に眠気の出る副作用の
あるものを使うこともある。
- ・決まった時間に症状が出る場合は、その前に服用する。
- ・非薬物療法で症状が落ち着かないなら薬を使うのが一般的。
 - ・そわそわするなど、前兆のある方もいる。その方の好きな
ことをしていただくなど、気をそらすのはどうか。

- ・帰りたい理由がある場合もある。よく話を聞いて
あげてほしい。
- ・夕方は周りも忙しく、パタパタする時間帯。
「そろそろ帰らなきゃ。」と思わせてしまう。
- ・本能的に安心する場所に帰りたいと思うのでは
ないか？
- ・新しい施設やグループ内に入ることがあるときは、
ご自身の解説書(紹介文)のようなものを本人
に作ってもらえるのはどうか。
周りの人に理解してもらおうきっかけになるのでは。

次回もオンライン（zoom）と会場の同時開
催です。

日時：2024年9月25日(水)14:00～

会場：病院2階の会議室

皆さまの御参加をお待ちしております。